

平成28年度専門家派遣事例

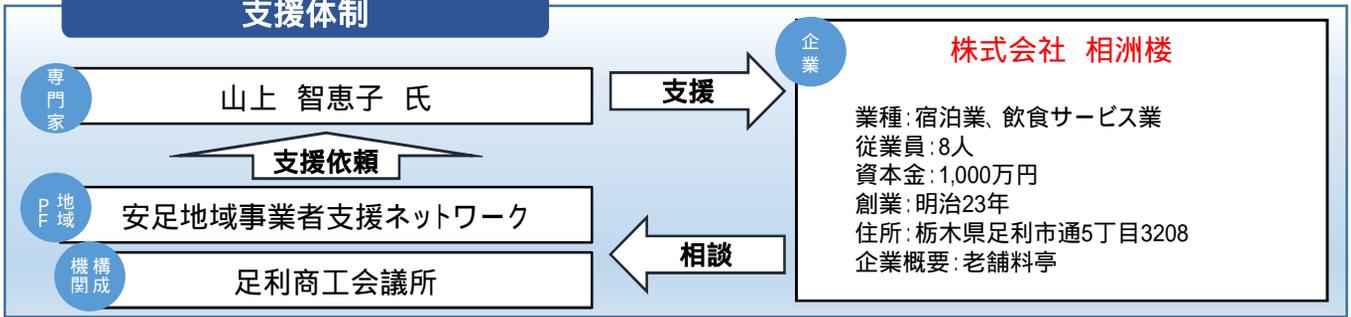
支援課題：その他

平成29年2月

目次

都道府県	支援元機関名		ページ
	企業名	支援テーマ	
栃木県	安足地域事業者支援ネットワーク / 足利商工会議所		1
	株式会社 相洲楼	老舗料亭の5S活動によるおもてなし向上支援	
埼玉県	埼玉県よろず支援拠点		2
	株式会社 真工社	ビジネスモデルの転換に伴う新組織の構築支援	
岐阜県	岐阜県よろず支援拠点		3
	農業生産法人PLUS 株式会社	「岐阜県HACCP認定制度」への申請補助支援	
岐阜県	岐阜県中小企業支援プラットフォーム / 公益財団法人岐阜県産業経済振興センター		4
	清水電子工業 株式会社	ISO9001認証取得による業務の簡素化と有効化に向けた支援	
愛知県	愛知県よろず支援拠点		5
	株式会社 カラフルコンテナ	新企画「オーシャングリル」の認知度向上支援	
愛知県	名古屋市中心小企業支援プラットフォーム / 公益財団法人名古屋産業振興公社		6
	快眠SHOP 冨ゆ	強みを生かす経営革新への気づき支援	
大阪府	大阪府よろず支援拠点		7
	株式会社 千代田工業所	精密板金加工企業のCMS構築支援	
山口県	さいきょう「元気」中小企業支援プラットフォーム / 株式会社西京銀行		8
	有限会社 周南Food・Core	HACCP認証取得及び製造工程の効率化支援	
愛媛県	えひめビジネスサポートネットワーク(チームえびす) / 公益財団法人えひめ産業振興財団		9
	ももやま茶屋	喫茶店の紅茶を中心とした他店との差別化に向けた支援	
大分県	大分県よろず支援拠点		10
	中華料理店 「紅灯籠」	中華料理弁当のパッケージデザインの構築支援	
鹿児島県	鹿児島県よろず支援拠点		11
	株式会社 田島技術	土木システム開発の社内体制構築に対する支援	

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は明治初期、両毛地区で京都との繊維取引所として、初代女将が船着場の近くに店を開いたといわれる、創業120年の歴史を誇る老舗の料亭である。現在も、近郊の大・中小企業の接待の場として、地元ではなくてはならない店となっている。本企業では近年より、お客様へのおもてなしの強化をはかる一つとして、5S(整理 清掃 整頓 清潔 躰)に取り組んでいたが、自店の取組だけでは成果が上がらなかったことから、より高度で専門的な5Sの方法が必要と感じ、当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業の状況をヒアリングしていくと、創業120年の歴史を誇る老舗料亭ではあるが、店内の様子は雑然と物が置かれており、建物の美しさを阻害しているという印象を抱いた。このような状況から、今回は専門的な清掃、整頓を行うことで、お客様にとって心地よい空間に生まれ変わることが必要であると判断した。そこで、料亭や店舗への支援経験もあり、5Sの支援ノウハウの豊富な本専門家を派遣することにより、課題の解決にあたった。

専門家による具体的な支援内容

店内全ての清掃・整頓を目的として支援に着手した。特にお客様が最初に対面する玄関は入念に手を加えた。まず、整頓作業として、雑然と物が置かれている状況を払拭するために、店内の装飾品などの物を最小限に減らし、ゆったりとした印象を与えるような空間を作るよう指導した。清掃には、原点に戻す力のある「EM」(乳酸菌や酵母など、環境にもやさしい微生物を使った活性剤)を紹介した。「EM」は通常農作物の活性剤として知られているが、清掃に使用することで、本来の心地よい風合いを取り戻すことができ、匂いもないことから、飲食を提供する本企業にとって最適の清掃剤であると判断した。各部屋、廊下、配膳場、トイレなど全てを玄関、ロビーと同じように磨き上げるよう実践指導をした。

成果

今回の支援を受け、本企業は創業当時の美しい老舗料亭の姿を取り戻すことができた。生まれ変わった姿に感動したお客様が、他のお客様を案内する光景も見られ、新規顧客に繋がる効果となった。以前は閑散としていたロビーにも人が集まるようになり、居心地の良さから、なかなか帰ろうとしない状況も見られるなど、表面の美しさに留まらず、お客様の心に響く「おもてなし」が実現しつつある。清掃、整頓を保つことで、お客様に対するきめ細かいサービスの向上に現れている。

清掃後の玄関写真



専門家の声

氏名: 山上 智恵子
保有資格:
専門分野: 5S(清掃が中心)
専門家の声: お客様に料理だけでなく癒しの空間として感じて貰いたいという社長の強い思いが感じられた。さらにきめ細かく目配りをして、その期待に応えるよう支援をした。



事業者の声

毎日綺麗にするだけでなく、綺麗にする目的や心持ちまで話していただき、とても興味深いです。お客様からも、明るく心地よい空間に生まれ変わった店内に、お褒めの言葉を多くいただいております。大変お世話になりました。有難うございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000Rxp4pAAB>

支援体制

専門家

三宅 達夫 氏

支援

企業

株式会社 真工社

支援依頼

相談

支援
拠点
よろず

埼玉県よろず支援拠点

業種：製造業
従業員：65人
資本金：3,000万円
創業：大正11年5月
住所：埼玉県戸田市美女木東2-2-6
企業概要：装飾メッキ加工、電鍍加工

支援概要

支援の経緯

本企業は埼玉県戸田市に本社を置くメッキ加工会社である。当拠点ではこれまでビジネスモデルの転換支援を行っており、主軸としていた「表面処理の加工依頼の受託」から「部品やユニットの直接受注」への転換を行っているところであった。しかし、ビジネスモデルの転換により発生した新たな業務である原料の調達業務や契約業務についてはノウハウがなかったことから非効率的な状態が続いていた。そこで、非効率な状態を改善するために当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

ヒアリングを行ったところ、例えば、原料の調達にあたり、本社と各工場の担当者のそれぞれが別個で原料を購入するなど、在庫を一元的に管理していないことがわかった。そこで、まずは原料の調達方法及び品質保証方法の見直しが必要と判断し、原料の調達方法にかかる支援実績が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

原料の調達にあたり、「本社での調達業務（調達先管理含む）」に一元化することを提案した。そのうえで、調達業務を担当する新組織のアウトライン（責任範囲、担当業務、想定人員）を設定するとともに、重要な調達商品を抽出し、当該商品ごとに調達業務の組織を構成するよう提案した。

また、調達担当者の育成にあたり、使用するべき教科書を紹介するとともに、社内勉強会の方法について指導した。さらに、調達価格の決定から原料の購入までのプロセスをヒアリングし、サプライヤー評価や品質保証協定書の締結及びコスト削減（経営の収益改善への寄与）ができる組織体制の構築を支援した。

製品の一例



成果

調達業務を統括する部署を新たに設置すると同時に、調達業務（実務、契約方法、法律等）に関する社内勉強会もスタートした。現在は、毎月定期的にアクションプランの進捗を確認するなど、調達部門の担当者育成を継続して実施している。

また、全調達商品から重点商品を設定し商品ごとに組織して、調達業務一元化によるコンプライアンス強化や調達金額の総額10%削減を目標に業務を開始した。

専門家の声

氏名：三宅 達夫

保有資格：なし

専門分野：戦略購買。

専門家の声：真工社のみなさまは、何をしたらよいかわかってからのスピードがとても早いです。4つの重点商品ごとに組織を作り、毎月進捗を聞かせていただいています



事業者の声

メッキ専業から表面処理加工メーカーを目指しており、その過程において調達業務の見直しが必要となりました。よろず支援拠点に相談し三宅先生を紹介していただきました。調達活動だけでなく、サプライヤーとのコンプライアンス面での気づきも得られ、コスト削減以外にも必要なアドバイスを受けることができました。そして、これらを踏まえたアクションプランの作成を通して、購買のイロハを学ばせていただきました。おかげさまで効果的な改善活動のスタートを切ることができ大変感謝しています。

専門家プロフィールURL（プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。）

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F0000ucaBrQA1>

支援体制

専門家

永井 利明 氏

支援

企業

農業生産法人PLUS 株式会社

支援
拠点
よろず

支援依頼

岐阜県よろず支援拠点

相談

業種：製造業

従業員：7人

資本金：500万円

創業：平成24年2月

住所：岐阜県関市千足818-1

企業概要：米の生産から米粉商品販売までを手がける六次産業

支援概要

支援の経緯

本企業は平成24年に設立して以来、農業(米)の生産から米の加工、製品製造、販路開拓に至るまで一貫して自社でこなす「六次産業化」を手がける企業である。今後は、製造した商品について海外への販路拡大を計画しており、そのためにはHACCP(ハサップ)の認定が必須であることから、本年より岐阜県に制定された「岐阜県HACCP認定制度」の導入による品質向上を目指そうと、当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業へのヒアリングの結果、平成29年3月までの「岐阜県HACCP」の認定を目標としていることがわかった。そこで、食品支援及びHACCP申請支援の実績が豊富であり、事業者の信頼と評価が高い本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

はじめに、「岐阜県HACCP認定制度」の導入及び一般衛生管理の拡充と構築について解説し、認定取得までのプランを立案した。次に製造工場内を視察したところ、商品等の品質管理の基礎力はあるものの、社内のルールとしてマニュアル化や記録化がされていないため、文書化と体制構築について支援した。具体的には、商品製造フローチャート、衛生管理マニュアル及び自主点検表の作成を支援するとともに、危害分析の実施、CCP(重要管理点)の抽出、商品回収プログラムの整理について指導し、これらを実施するためのプログラム構築について、社内でチームとして取り組む体制を作るようアドバイスした。そのうえで、岐阜県HACCP導入への申請手続きを支援した。



作成したマニュアル等

成果

支援により、危害分析及び商品回収のプログラムを確立することができるとともに、自主点検表が完成した。また、岐阜県HACCP導入申請の準備段階で、生産管理のプロジェクトチームを結成し実施体制を整えたことにより、自社商品が「岐阜の逸品」に選定され、大手百貨店等との契約も叶い、販路を拡大することができた。現在は、今年度末の岐阜県HACCP導入申請に向けて準備を進めている。

海外との商談進行中である
米粉100%の Pasta



専門家の声

氏名：永井 利明

保有資格：ISO審査員

専門分野：BCP / その他の経営課題

/ ものづくり / 農商工等連携

専門家の声：

PLUS様は、自社の安心安全な製品作りを心掛けておられ、その為にHACCPの構築をされようとしています。衛生管理の基本も培ってこれ岐阜県版HACCPの認定も可能と思われます。



事業者の声

わかりやすく丁寧に説明していただいて、もう少しで岐阜県版HACCPが申請できる。

岐阜県版HACCPの導入に努力したことで、COOP(生協)や4大手デパート(三越・伊勢丹)との取引が確定したので良かった。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000WEkOeAAL>

平成28年度専門家派遣事例

支援体制

専門家

高橋 晴美 氏

支援

企業

清水電子工業 株式会社

支援依頼

地域

岐阜県中小企業支援プラットフォーム

機関

公益財団法人岐阜県産業経済
振興センター

相談

業種：製造業
従業員：25名
資本金：2,000万円
創業：昭和47年9月1日
住所：岐阜県美濃加茂市加茂野町加茂野606-8
企業概要：各種電源変圧器、リアクトル製造

支援概要

支援の経緯

本企業は岐阜県美濃加茂市と中国・浙江省に製造拠点を置き、各種変圧器の設計開発から製造までを行っている。納入先が大手メーカー及び商社であることから、顧客よりISO9001の取得を要請された。取得を目指す以上、社内全ての業務に適用でき、また高齢化していくベテラン従業員の技術、技能を形式知化してレベルの維持向上に活用できるようなISOシステムを構築したいと考えた。そこで、社内の品質保証体制の標準化と有効活用できるISOの取得について、当機関に相談があった。



主力製品の制御トランス

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

当機関担当者がヒアリングしたところ、本企業は体制や業務について明確な区分がなく、また文書化もされていないことがわかった。社内基準の標準化を図るためには業務の流れを明確にしてマニュアル化し、ISOシステムを活用して確実な業務伝達の仕組みを構築することが必要であると判断した。そこで、実務に即した実効性のあるISO認証取得のため、わかり易い指導内容で実績のある本専門家に依頼した。

(下)作成された運営マニュアル

専門家による具体的な支援内容

まずはじめに組織を確定し、それぞれの部門の責任を明確にして体制を確立した上で、組織図を作成するよう支援した。また、内部コミュニケーションを確立するために、月例会議を実施して議事録を作成し、所定の手順で社内情報伝達していくよう指導と助言を行なった。ISOの取得に向け、マネジメントシステム体系図作成及び営業・生産・品質・経理等の業務プロセスの規定とマニュアル化を指導した。本企業でこれまで実施されている仕組みを活かしつつISO9001の規格要求事項を満たすシステムを構築するよう総合的に支援した。



(下)内部監査員認定書と簡素な標準類

成果

支援の結果、平成28年10月4日(火)～5日(水)にISO9001認証登録審査を受審し、検査体制における2項目の指摘事項を受けたが改善方法を提出して、無事認証を取得できた。(ISO認証・審査登録機関：ペリジョンソロンレジストラー)
また、「運営マニュアル」も完成し、業務の効率化と標準化が実現できた。本企業でこれまで実施されている仕組みを活かしつつISO9001の規格要求事項をプラスし、実業務に則した無駄のない、実効性がある身軽なシステムが構築できた。



専門家の声

氏名：高橋 晴美
保有資格：ISO審査員
専門分野：ISO取得促進支援

専門家の声：支援を実施する際、実際に役に立つISOを目指した。当社のこれまで実施されている仕組みを活かしてそこにISO9001要求事項の不足している部分を補っていく指導を行った。



事業者の声

高橋先生を紹介していただきこれまで遠い存在であったISO9001の認証を取得することができました。当社の実態に即した実効性があるシステムが出来上がり、会社として一本筋が通った気がします。ミラサポ、アドバイザー派遣等の支援制度を活用して無理なく取得することができました。ご支援ありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000ZEU1MAAX>

支援体制

専門家

岡田 達也 氏

支援

企業

株式会社 カラフルコンテナ

業種: 建設業

従業員: - (人)

資本金: 200万円

創業: 平成26年

住所: 愛知県江南市高屋町大師191番地

企業概要: コンテナを活用したプロモーション

PF
地域

愛知県よろず支援拠点

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は、愛知県江南市に平成26年に創業し、建築用および輸送用コンテナを活用したプロモーションを行っている。新規のコンテナ活用として、コンテナの内部に厨房機器を装備したタイヤ付きの移動式キッチンカーをプロデュースし、愛知県の常滑りんくうビーチに「オーシャングリル」という店舗名で海の家として誕生させた。夏場だけの期間限定(7/16~8/31)のため、一日も早く認知度を高めたいと当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業は、あいち産業振興機構の創業道場の卒業生であり、創業時より支援している当拠点のCoがヒアリングしたところ、自社の思いのみが先行して商品の新規性、話題性、社会性などの要素が纏まっていないという問題点があった。そこでポイントを整理した上で、事業の認知度を上げるためにプレスリリースにチャレンジすることを薦め、プレスリリースの経験が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

はじめに、プレスリリース文の書き方について、新規性、話題性、社会性の3つのポイントをアピールすることが重要であると説明した。新規性としては「東海地区では初!」とし、話題性については、浜辺で海を家の代わりにカラフルな外観に仕上げた事、社会性については、海上輸送用中古コンテナをタイヤ付きキッチンカーとしてリノベーションしたことなどを盛り込んで、記者クラブへ投函できるレベルまでブラッシュアップした。また、最優先のターゲットをマスコミの記者とし、名古屋経済記者クラブと中部経済新聞の一宮支局の2箇所の投稿窓口を紹介して、リリースを支援した。

成果

キッチンコンテナカー「オーシャングリル」

支援を通じ、平成28年8月24日に「コンテナがキッチンカーに」、26日に「改造コンテナでビーチ盛り上げる」という見出しで、中部経済新聞に2回掲載された。掲載後、しばらくは日に数件の電話問い合わせが続き、商品の引き合いも3件入って現在交渉中である。また、地元江南市からもオーシャングリルの出店要請があり、花火大会に出店して好評を得た。今後は認知度をさらに上げるため、キッチンとしての用途のほか、短期間のポップアップストアとしてアパレルショップへのアプローチや、空き駐車場の有効活用的手段として不動産業界へもアプローチするなど、さらなる実績拡大を見込んでいる。



専門家の声

氏名: 岡田 達也

保有資格: 中小企業診断士

専門分野: 販路拡大・販促支援

専門家の声: 支援を実施する際、プレスリリースのポイントを押さえ、各要点に簡潔なアドバイスをした。本支援は、機動性のあるキッチンカーを市場に告知する事を最優先に考え、その後の事業化を目指す支援であった。



事業者の声

岡田先生の紹介で、独自性のある商品の思いを組み込んで頂いたこと、結果としてマスコミに掲載され自社のPRになった事を非常に感謝しています。

リリースに関しては、そのノウハウや手順も判らず、ましてやりリリース分のポイントやマスコミの記者がターゲットだという事も知らなかったので大変勉強になりました。

創業してまだ日も浅いのですが、地元の花火大会などからも引き合いがあり、地域と密着して少しでも地域貢献ができるように今後もしていきたいです。素晴らしい支援ありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F00000t6iyMQAA>

支援体制

専門家

木下 勝 氏

支援

企業

快眠SHOP 冨ゆ

支援依頼

P F 地域

名古屋市中小企業支援プラットフォーム

機関

公益財団法人名古屋産業振興公社

相談

業種：卸売業、小売業
 従業員：1人
 資本金：0万円（個人）
 創業：昭和37年4月
 住所：愛知県名古屋市中区橋1-15-16
 企業概要：寝具販売（オーダー枕）

支援概要

支援の経緯

本企業は、名古屋市中区にある寝具小売業で、オーダー枕の販売に力を入れている。しかし、事業計画の策定、HPの改善、経理の仕組み整備などいくつもの課題をかかえており、どれからどのように手を付けるべきかわからない状態であった。そこで、当機関の連携先である名古屋市小規模事業金融公社の紹介により、当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

まず、本企業がかかえる経営課題のうち、HPの改善については当機関の窓口相談で支援を実施した。次に事業計画については、当機関の専門家派遣制度と本専門家派遣制度を併用して、中長期計画の策定までを含めて支援することとした。そこで、経営戦略策定支援の経験と実績が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

はじめに、事業分野と事業の革新性について確認し、売上構成、顧客のニーズ、競合他社などから事業環境の棚卸を実施し、当店を「快眠ソリューションの店」としてポジショニングした。また、本企業の強みである個客とのコミュニケーション力と確かな計測技術から来る信頼関係を基盤に、3年後、5年後における達成目標を確認した。そのうえで、課題やアクションプランについて、重要度・緊急度から優先順位をつけることを指導し、それに対する施策がどのような効果をもたらすかを販売数量・単価・原価・経費から定量的に把握するために、月次決算でレビューを実施することが重要であると説明した。さらに、顧客×商品サービスのマトリックスによるターゲットの整理やマーケティングについてアドバイスし、5年後の売上数値設定等による事業計画作成を支援した。

快眠ソリューションの取組み



成果

支援を受けるまでは、経営革新への強い意欲はあるものの、それをどう具体化するかの知識・経験を持っていなかった。専門家に計画策定までの道のりをわかりやすく示され、自社の強みや環境について明確になったことで、事業計画書が完成した。

また、当該事業計画の作成により、これまでオーダー枕の販売であった事業を、ソリューションサービス事業に転換させることができた。今後は、事業計画で掲げた「売上額27年度比2.6倍、快眠ソリューションNo.1」という5年後の目標の実現に向けて、売上額・利益額の検証を行い、事業の実施を図っていく。

専門家の声

氏名：木下 勝
 保有資格：中小企業診断士・ITC・キャリアコンサルタント
 専門分野：経営革新 / 販路拡大・販促支援 / 組織開発支援
 専門家の声：経営者の思いを具現化するアドバイスを大切にしたい。本支援は小売からソリューションサービスへの事業転換による、成長の実現を目的とした。



事業者の声

非常にわかりやすく、今までばやけていた部分が、明確になってデジタルにつながりました。また、今後の経営において必要事項がとても参考になりました。

専門家プロフィールURL（プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。）

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000n0p1CAAQ>

支援体制

専門家

高野 淨 氏

支援

企業

株式会社 千代田工業所

支援
拠点
よろず

大阪府よろず支援拠点

相談

業種：製造業
従業員：19人
資本金：3,500万円
創業：昭和44年3月9日
住所：大阪府豊中市服部西町5丁目14番2号
企業概要：通信機・計測機等の精密板金加工

支援概要

支援の経緯

本企業は創業40年以上の精密板金加工業であり、高い技術力を生かして通信機や計測機等の部品製造を得意としている。今般、取引先の新規開拓を進めていく中で、商談中の顧客から当社の化学物質管理ガイドラインの提示を求められた。しかし、本企業ではガイドラインの作成方法が分からず、業界内で参考にできる事例も見当たらなかったことから、金融機関を通じて当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

当拠点のC0がヒアリングを行ったところ、化学物質管理ガイドラインの作成に必要なCMS（製品含有化学物質管理システム）は構築していなかったものの、ISO9001とISO14001はすでに取得しており環境に配慮する経営を行っていることがわかった。そのため、新規取引先から求められた化学物質管理ガイドラインの要求事項に沿って、ISOの各マネジメントシステムの内容を整理し、不足している部分を補うことでCMSの構築を進められるのではないかと判断した。そこで、化学物質管理の支援について実績のある本専門家を派遣することで課題の解決にあたった。

専門家による具体的な支援内容

CMSの枠組みは、ISOの枠組みと酷似していることから、双方を統合した方が日常の運用面で負担が少なくなるため、その方向で支援を行った。具体的には、化学物質管理ガイドラインのチェックリスト全94項目を活用して、現状の工場内の管理レベルをひとつひとつ確認していった。さらに、ここで不適合になった項目について、本企業のISOマネジメントシステムへの追加、また改善策についても検討していった。そのうえで、ISOのマネジメントシステムへの肉付けを行った。あわせて、要管理物質の混入リスクの低減を目的とした、HACCP（ハサップ）の危害リストを使った重点管理の方法を指導した。

CMSの構築フロー図

成果

CMSの構築に向けて本企業がすべきことが明確となった。既に構築されていたISOの中にうまく取り込むことで、CMS構築の労力を最小限に抑えることができ、今後の運用負担も軽減できるシステムを構築したことにより、求められていた化学物質管理ガイドラインを作成し、提示することができた。業界内でもCMSの構築を行っている企業は少ないことから、今回の支援によりCMSを部分的に構築したことで他社との差別化がなされるようになった。今後は、当該CMSの構築によりさらなる取引先の拡大を図っていく。

専門家の声

氏名：高野 淨
保有資格：中小企業診断士
専門分野：環境経営、ものづくり
専門家の声：今回の支援にあたり、企業様の業務プロセスに即したCMSが構築できるよう心がけた。新たな負担を抑えつつ、化学物質の管理レベル向上につなげることで、攻めのCSR経営を実現していただきたい。



事業者の声

CMSの構築について、専門的な知識が必要であり、身近に構築の実例もなく行き詰まっていました。専門家の方には基礎的な知識からシステムの構築にあたり必要になる資料や帳票、その作成手順について親身になって教えていただきました。CMS構築についての業務が多いため、完全構築にまでは至りませんでした。何から始めればよいか分からなかったところに構築までの道筋を作っていただき本当に助かりました。このCMS構築により他社との差別化を強固にし、さらなる新規顧客の獲得に繋げていきたいと考えています。

専門家プロフィールURL（プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。）

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000RxiTpAAJ>

支援体制

専門家

海老澤 政之 氏

支援

企業

有限会社 周南Food・Core

業種：卸売業、小売業
従業員：12人
資本金：500万円
創業：昭和62年6月
住所：山口県周南市鞆町2丁目45番地
企業概要：居酒屋・寿司屋への鮮魚卸

支援依頼

地域

さいきょう「元気」中小企業支援
プラットフォーム

相談

構成

株式会社西京銀行

支援概要

支援の経緯

本企業は鮮魚の卸売業を本業としているが、水産物の加工品の製造、販売にも取り組んでいる。今後は、その加工品の製造、販売部門を拡大していきたいとの意向があり、新工場建設を検討しているところである。そこで、新工場に対するHACCP(危害分析重要管理点)認証を取得することで企業イメージを向上させ、加工品の製造、販売部門拡大の一助としたいとのことで、当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業へヒアリングしたところ、新規顧客数も増加し受注も安定して増加しているが、現在の加工工場ではスペースが手狭となってきており、受注増加に見合った生産量が今後確保できなくなる可能性があることから新工場建設の必要があるということがわかった。さらに、HACCP認証を取得することで、企業イメージの向上を図り、顧客ターゲット層の拡大にもつなげていきたいと考えていることがわかった。しかし、当機関にはHACCP認証取得のサポートができる専門家がおらず、対応が困難であったことから特定非営利活動法人近畿HACCP実践研究会の顧問で食品分野に精通している本専門家を派遣することにより、課題の解決にあたった。

専門家による具体的な支援内容

まずはHACCP認証の考え方について説明するとともに、工場の製造工程を確認した。製造工程(一次加工品(フィレ)の受入 冷蔵保管 細断 調味 個包装 箱詰め 冷蔵保管 出荷)の各工程ごとに確認を行うとともに、効率面等改善できる箇所を洗い出すとともに、その改善方法を提案した。また、新工場のレイアウト(間取り)については、実際に建設予定地を訪れ、立地にあった効率的な加工工程となるよう間取りの設計方法等アドバイスした。



(鮮魚の加工イメージ写真)

成果

新工場の概略図と建設予定地への訪問により、新工場の建設計画をより具体化させることができた。現在、当該計画をもとに設計事務所に依頼し、新工場の建築図の作成を進め、現在HACCP認証取得に向け、積極的に取り組んでいる。また、HACCP認証取得予定の新工場建設に並行して、現在の製造工程も改善したことにより、生産性向上につながり、これまで取引が難しかった大手スーパーや外食チェーン店等に対しても営業活動を行うことができるなど、販路拡大の体制が整った。

専門家の声

氏名：海老澤 政之
保有資格：ISO審査員、建築整備士、
大日本水産会 HACCP
講習修了

専門分野：食品衛生管理 等
専門家の声：働く人の立場に立った食品加工施設の計画をサポートをしています。中小企業の方だからこそ可能な食品安全管理システムの構築のサポートをご提案します。



事業者の声

専門的な言葉を使わずに説明をいただき、HACCPの内容や必要な手続き等について理解を深めることができました。また順序立てて説明をいただいたことで新工場建設までの流れなどを具体化することができました。今後も海老澤先生から適宜アドバイスをいただきながら計画を進めていきたいと思っております。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000mXjPiAAK>

支援体制

専門家

前川 達哉 氏

支援

企業

ももやま茶屋

業種: 宿泊業、飲食サービス業
従業員: 1人
資本金: - (万円)
創業: 平成27年5月
住所: 四国中央市中曾根町53-1
企業概要: 喫茶店

支援依頼

地域

えひめビジネスサポートネットワーク
(チームえびす)

機関

公益財団法人えひめ産業振興財団

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は、昨年度創業した、コーヒーと食物アレルギーに対応したケーキを提供している喫茶店である。創業以前よりコーヒーを飲めない顧客向けに紅茶の提供を充実させたいと考えていたため、日本紅茶協会の認定店レベルにまで茶葉の種類を充実させることと、紅茶を通して顧客に癒しを提供したいと考えていた。また、愛媛県には日本紅茶協会の認定店がないので、認定店となることで他店との差別化につながるとも考えた。しかし、事業主は紅茶の提供を本格的に行った経験がないことから、認定店になるための支援が必要と感じ、当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業をヒアリングしたところ、紅茶を好む顧客は、紅茶に関する情報を得ることで癒しと満足を求めていること及び産地や淹れ方などの正しい知識を求めているが、事業主が紅茶の専門知識を有していないため、顧客の求めに十分に対応ができていないことがわかった。しかし、当機関には紅茶店経営に関する専門職員がいないため、紅茶店経営や顧客拡大の支援で四国一豊富な実績を有する本専門家を派遣することで課題の解決にあたった。

専門家による具体的な支援内容

事業主が考える日本紅茶協会認定店のレベルに到達するために、まずは本企業のメニューの再作成を提案した。次に、認定を受けるにあたっての正しい紅茶の淹れ方及び店内に必要な設備とその点検方法について実践的な指導を行った。加えて、提供する茶葉の産地や特徴等の説明を中心に、紅茶の知識について提供した。

また、認定店として認定されるまでの手続きについても助言し、認定の際に必要なこととして、協会調査員の心証を損なわないために紅茶の全般的な知識が必要であること及び茶葉の仕入先の選定方法についてもアドバイスした。



(紅茶の淹れ方とテイस्टングの指導風景)

成果

紅茶の知識だけでなく、紅茶の淹れ方等実践的な面でも事業主の理解が早いことに加え、自社で提供できることとできないことが明確になされていることで、適切に紅茶を提供できる環境が整い、現在は日本紅茶協会からの認定店への推薦にかかる手続きを行っているところである。また、本格的な紅茶の提供が可能となったことから、顧客の求めるサービスを提供できるようになったことで、支援前と比較し紅茶を注文する顧客が増加するなど、新たな顧客層が来店するようになった。

専門家の声

氏名: 前川 達哉

保有資格: 茶葉の扱いの実地指導

専門分野: 海外展開・輸出管理

専門家の声: 本支援を実施する際に気を付けたことは店舗の売上が向上することであった。そのためにまず基本的な知識や作業の見直しとともに県内全域からの顧客の獲得・客数の増加を目指した支援を行った。



事業者の声

前川先生を紹介していただき、紅茶の美味しい淹れ方と知識を学ぶことができました。珈琲が飲めない層の集客も増え、紅茶好きの方の満足度も上がったように思います。今後も美味しい紅茶を出せるよう日々精進し、ほんものの美味しい紅茶を届けられる存在になっていきたいと思っております。すごく充実した支援で、本当に利用してよかったと思います。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000fbPInAAM>

支援体制

専門家

数野 美子 氏

支援

企業

中華料理店「紅灯籠」

業種: 宿泊業、飲食サービス業

従業員: 2人

資本金: - (万円)(個人事業)

創業: 平成23年11月

住所: 大分県別府市上人西2組-2

企業概要: 中華料理店

支援拠点

支援依頼

大分県よろず支援拠点

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は創業6年目の中華料理専門の飲食店である。創業当時より地元の住民から、安くて美味しい中華料理のお店として親しまれていたが、さらなる売上向上のため、来店客への対応と同時に、中華料理の弁当販売をすることを考えていた。しかし、弁当販売についてのノウハウ不足や資金調達等の課題に直面していた。そこで、それら課題の解決のため、当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業にヒアリングをした結果、まず資金面の課題を解決するために小規模事業者持続化補助金にチャレンジするよう提案し、事業計画をブラッシュアップしたうえで申請したところ、採択されることとなった。これにより資金面の課題は解決した。しかし一方では、店主はこれまで弁当パッケージを作成したことがなかったことから、考案したパッケージは店主による本格的な中華料理の魅力を落としている印象を受けた。そのため、パッケージデザインはより専門的な助言が必要であると判断した。パッケージを洗練させ、料理の魅力をさらに引き立たせるため、パッケージデザインについて数多くの支援実績をもつ本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まず、弁当の種類ごとに増えたパッケージを整理して合理化を行った。その結果、店主が作成したパッケージが20種類を超えていたが、合理化により7種類の素案に統合することができた。そのうえで、その素案を元に店主とアイデアを出し合った。それぞれのアイデアについて議論を重ねるうちに、本場中国仕込みの中華料理であることや、日本ではなかなか味わえない特徴のある辛さをアピールしたものが良いのではないかと結論を引き出すことができた。その結果、シンプルで力強いパッケージデザイン案が生まれ、顧客に本場の中華料理のイメージが伝わるパッケージの作成につながった。

成果

顧客に本場の中華料理のイメージが伝わるパッケージが完成し、予定通り弁当販売を開始することができた。さらに、合理化でパッケージの種類を20種類から7種類に統合したことにより、当初想定していたパッケージの購入コストを下げることに成功した。また、弁当販売が無事に開始されたことから、現在ではクーポン券の企画にも着手している。

新パッケージのお弁当



(新パッケージ)

専門家の声

氏名: 数野 美子
保有資格: なし
専門分野: アートディレクター
専門家の声: 当初の依頼にあった表面のグラフィックのデザインではなく、業務に深く切り込んで合理化を推しました。



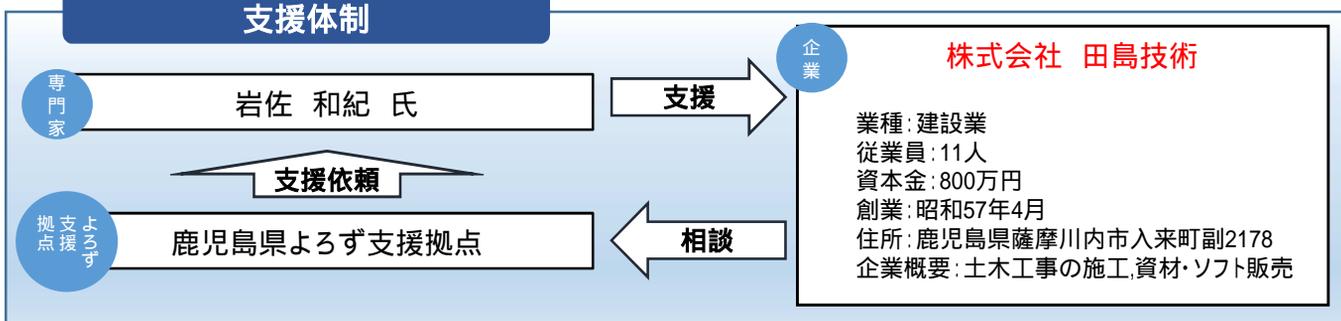
事業者の声

これまで検討してこなかったことに対しての提案が多くあり、実際に実現までの道のりを導いてくれて大変感謝している。コミュニケーションに不安があったが、派遣によってじっくりと対話ができたことで、良いアイデアが生まれたことに満足している。大きな転換のきっかけとして捉えたい。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧くださいにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F0000t6ATCQA2>

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は、建設会社の子会社で土木工事に関する資材の卸販売やソフトウェアの開発を行っている。これまで、土木工事にかかる設計データの取込や単価表自動作成等の機能を搭載したソフトウェアを開発し、地域の企業に販売してきたが、開発者が高齢になったことにより、今後もソフトウェア開発事業を継続していくための人材育成及び社内体制の整備が必要となったことから、その手順やスケジュールの立て方などについて当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業をヒアリングしたところ、これまでは属人的にソフトウェアの開発が行われたことから、ソフトウェアに関する知識や情報が開発者の頭の中にしかなく、社内で情報共有されていないことが判明した。一方で、人材を育成し、新しいソフトウェアを開発していくためには、ソフトウェアに関する知識や情報を社内で共有する体制をしっかりと確立することが必要であると判断した。そこで、情報システムの開発、運用の経験が豊富である本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まずは、開発しているソフトウェアの内容を確認し、当該ソフトウェアの仕様や開発行程を把握した。そのうえで、社内において感じている課題や足りていないノウハウなどについてもヒアリングを行い、支援を開始した。中長期的なソフトウェア開発プロジェクトの計画を立てるための考え方とプロジェクト運営のための予算策定の方法についてアドバイスを行った。企業側もそのアドバイスを基にして実際にプロジェクトの計画書を作り上げ、さらにソフトウェアにおける各種設計書やソフトウェア完成後の人材育成の計画書を仕上げることでできた。



(支援の様子)

成果

ソフトウェア開発のノウハウを社内において共有する仕組みができ、関係者が自社製品について同一の知識・情報を得ることが可能になった。自社のノウハウが整理されることにより、その部分を外部の開発会社に委託すべきか、どの部分がコアになっており自社で開発を行うべきかが明確になり、外部の開発会社との連携がスムーズにできるようになった。これにより、新しいソフトウェアの開発スピードを上げることが可能となり、ソフトのリリースを早めることにより、来期の売上は今期を上回ることが期待できる。

専門家の声

氏名: 岩佐 和紀
保有資格: 情報処理技術者 / ITコーディネータ
専門分野: システム開発
専門家の声:
相談者様の不安を解消するために相談者の理解度やスキルに合わせたアドバイスを意識しました。



事業者の声

自社の将来を考えてやるべきことを明確にしたいという思いで相談をしましたが、自社のソフトウェアが他社のソフトウェアに比べて、どの部分が優れており、どの部分を大切にしていかなければならないか！が整理できたので、今後のソフト開発においても大きな気づきを得ることができました。
また、専門家からは重要な部分を整理して明確に伝えていただいたので、あまりソフトウェア開発の知識がない者でも重要なポイントをしっかりと押さえて理解することができました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F0000ubrovVQAQ>